

イタリアンライグラス超極早生新品種「シワスアオバ」の飼料成分特性					
[要約] 「シワスアオバ」の1番草出穂期の飼料成分は、福岡県飼料成分表の成分値に比べると粗蛋白質含量は高く、繊維含量は低く、推定TDN含量は高い。2番草の飼料成分は福岡県飼料成分表の成分値とほぼ同等である。					
担当部署	畜産研究所・飼料部・家畜栄養研究室			連絡先	092-925-5229
対象作目	飼料作物	専門項目	生育調節	成果分類	品種選定

[背景・ねらい]

イタリアンライグラスは収量性、栄養価ともに優れており、県内の粗飼料生産の基幹草種として広く利用されている。近年、これまでの品種よりも出穂期が極めて早く、年内収穫も可能な超極早生品種「シワスアオバ」が育成された。しかし、その飼料価値は不明な点が多い。そこで、「シワスアオバ」を9月下旬から10月上旬に播種した場合の飼料価値を明らかにする（要望機関名：畜産課（H10））。

[成果の内容・特徴]

1. 「シワスアオバ」の一般飼料成分は福岡県飼料成分表の出穂期、開花期の成分値と比べると1番草は粗蛋白質含量は高く、粗繊維含量は低い。また、2番草の飼料成分は、ほぼ同等である（表1）。
2. 1番草の繊維成分含量は、2番草に比べると少なく推移し、特に収穫適期である出穂期における総繊維（OCW）含量は4.6ポイント少なく、低消化性繊維（Ob）含量は8.2ポイント少ない（表2）。
3. イタリアンライグラスの刈取適期である出穂期の推定TDN含量は、「シワスアオバ」では1番草67.0%、2番草は64.2%であり、高い飼料品質である（表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. イタリアンライグラス「シワスアオバ」の1番草刈取時期の選定や周年作付体系確立の資料として活用できる。
2. 牛に給与する場合、フォーレージテストで飼料成分を把握する。

[ 具体的データ ]

表1 イタリアンライグラスの一般飼料成分の推移(平成11~12年度)(DM%)

品 種	番草	生育時期	水分	CP	EE	NFE	CF	CA
シリアバ	1番草	出穂始	88.9	16.4	4.2	48.6	22.0	14.2
		出穂	87.6	15.2	4.0	44.0	24.6	12.3
		開花	83.1	10.8	2.8	54.6	22.1	9.8
		結実	78.4	9.9	2.5	54.7	24.2	8.6
	2番草	出穂始	84.4	12.7	3.2	50.9	23.4	9.8
		出穂	82.4	9.9	2.5	53.9	25.4	8.4
		開花	78.2	7.5	2.2	52.1	30.4	7.8
		結実	68.4	5.5	1.5	54.5	32.6	6.7
福岡県飼料成分表	出穂	84.7	13.7	3.9	44.6	28.1	9.7	
	開花	78.3	8.3	2.8	46.1	31.8	11.0	

- 注) 1. 播種量は2.7kg/10a、施肥量は堆肥3t/10a、化学肥料N・P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>・K<sub>2</sub>O各10kg/10a  
 2. 播種時期：9月下旬～10月上旬  
 3. 刈取時期：1番草は出穂期まで年内に収穫

表2 イタリアンライグラスの繊維成分と推定TDNの推移(平成11~12年度)(DM%)

品 種	番草	生育時期	OCW	Oa	Ob	ADF	ADL	IVDMD	推定TDN
シリアバ	1番草	出穂始	44.9	21.6	23.3	25.5	1.7	75.4	68.1
		出穂	48.0	21.0	27.0	29.0	2.0	71.9	67.0
		開花	44.8	17.9	26.9	25.4	2.1	72.1	67.7
		結実	51.7	12.4	39.3	28.7	3.0	58.9	62.2
	2番草	出穂始	47.6	16.8	30.8	27.1	2.1	68.3	65.9
		出穂	52.6	17.4	35.2	26.5	2.3	63.9	64.2
		開花	62.5	13.3	49.2	35.8	4.2	49.8	57.8
		結実	68.9	9.7	59.1	39.4	6.2	39.4	53.5
福岡県飼料成分表	出穂	57.5	23.1	34.4	32.7	-	-	64.2	
	開花	63.8	22.6	41.2	37.3	-	-	60.6	

- 注) 1. IVDMDは 乾物消化率  
 2. 推定TDN = 0.29\*(OCW+Oa) - 0.18\*Ob + 54.2:平成1年に福岡農総試が牧草、サイレージを対象にして作成したTDN推定式

[ その他 ]

研究課題名：平場の転作水田の利活用による自給飼料の周年利用付体系技術の確立

予算区分：国庫(新技術)

研究期間：平成12年度(平成11年～14年)

研究担当者：藤吉弘子、棟加登きみ子、梅田剛利、井上信明

発表論文等：平成12年畜産関係試験成績書